

弘前市 主要背景情報

主要背景情報 (CI)		単位	R1年度	R2年度	R3年度
水道事業体の プロフィール	現在給水人口	人	165,092	163,588	161,601
	全職員数	人	62	60	60
システムの プロフィール	主な水源種別	-	表流水（自流）	表流水（自流）	表流水（自流）
	浄水受水率	%	38.0	36.0	33.5
	給水人口1万人当たりの 浄水場数	箇所/ 1万人	0.73	0.73	0.74
	給水人口1万人当たりの 施設数	箇所/ 1万人	3.39	3.30	3.34
地域条件の プロフィール	有収水量密度	千m ³ /ha	0.67	0.67	0.67
	水道メーター密度	個/km	81.3	81.3	81.4
	単位管延長	m/人	6.45	6.52	6.60
	都道府県	-	青森県		

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R1)	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	単位	計算式
安全で良質な水	運営管理	水質管理	A101	平均残留塩素濃度	0.35	0.36	0.38	(mg/L)	残留塩素濃度合計/ 残留塩素測定回数
			A102	最大力ビ臭物質濃度水質基準比率	30.0	20.0	20.0	(値, 項目名) (%)	(最大力ビ臭物質濃度/ 水質基準値) × 100
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	31.0	29.5	33.0	(%)	Σ (給水栓の総トリハロメタン濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率	23.3	21.7	28.3	(%)	Σ (給水栓の有機物 (TOC) 濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A105	重金属濃度水質基準比率	0.0	0.0	10.0	(値, 項目名) (%)	Σ (給水栓の当該重金属濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A106	無機物質濃度水質基準比率	14.8	12.4	14.1	(値, 項目名) (%)	Σ (給水栓の当該無機物質濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A107	有機化学物質濃度水質基準比率	0.0	0.0	0.0	(値, 項目名) (%)	Σ (給水栓の当該有機化学物質濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	13.3	23.3	16.7	(値, 項目名) (%)	Σ (給水栓の当該消毒副生成物濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100
			A109	農薬濃度水質管理目標比	-	-	-	-	$\max \Sigma(X_{ij} / GV_j)$
	施設管理	施設管理	A201	原水水質監視度	64	64	65	(項目)	原水水質監視項目数
			A202	給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度	12.4	12.4	12.4	(箇所/100 km ²)	(給水栓水質検査 (毎日) 採水箇所数/現在給水面積) × 100
			A203	配水池清掃実施率	79.9	79.9	79.9	(%)	(5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量) × 100
			A204	直結給水率	97.9	97.9	98.7	(%)	(直結給水件数/給水件数) × 100
			A205	貯水槽水道指導率	12.1	11.2	12.2	(%)	(貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道数) × 100
	事故災害対策	事故災害対策	A301	水源の水質事故件数	0	0	0	(件)	年間水源水質事故件数
			A302	粉末活性炭処理比率	8.7	7.5	10.2	(%)	(粉末活性炭年間処理水量/年間淨水量) × 100
施設整備	施設更新	A401	鉛製給水管率	0.2	0.1	0.1	(%)	(鉛製給水管使用件数/給水件数) × 100	

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R1)	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	単位	計算式
安定した水の供給	運営管理	施設管理	B101	自己保有水源率	61.3	61.3	61.3	(%)	(自己保有水源水量/全水源水量)×100
			B102	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額	0.00	0.00	0.00	(円/m ³)	水源保全に投資した費用/年間取水量
			B103	地下水率	7.7	5.8	5.6	(%)	(地下水揚水量 / 年間取水量)×100
			B104	施設利用率	49.9	50.5	50.1	(%)	(一日平均配水量/施設能力)×100
			B105	最大稼働率	53.5	56.2	54.5	(%)	(一日最大配水量/施設能力)×100
			B106	負荷率	93.2	89.8	91.9	(%)	(一日平均配水量/一日最大配水量)×100
			B107	配水管延長密度	4.1	4.1	4.1	(km/km ²)	配水管延長/現在給水面積
			B108	管路点検率	35.1	15.3	30.1	(%)	(点検した管路延長 / 管路延長) × 100
			B109	バルブ点検率	1.4	0.6	0.2	(%)	(点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100
			B110	漏水率	6.2	7.5	6.5	(%)	(年間漏水量 / 年間配水量) × 100
			B111	有効率	93.3	91.9	93.0	(%)	(年間有効水量 / 年間配水量) × 100
			B112	有収率	89.6	88.6	88.5	(%)	(年間有収水量/年間配水量)×100
			B113	配水池貯留能力	0.93	0.92	0.93	(日)	配水池有効容量/一日平均配水量
			B114	給水人口一人当たり配水量	311	317	319	(L/日・人)	(一日平均配水量/現在給水人口)×1,000
			B115	給水制限日数	0	0	0	(日)	年間給水制限日数
			B116	給水普及率	97.9	97.9	98.0	(%)	(現在給水人口/給水区域内人口)×100
			B117	設備点検実施率	48.5	48.5	48.5	(%)	(点検機器数/ 機械・電気・計装機器の合計数) × 100
	事故災害対策	事故災害対策	B201	浄水場事故割合	0.00	0.00	0.00	(件/10 年・箇所)	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数
			B202	事故時断水人口率	46.0	48.0	51.5	(%)	(事故時断水人口/現在給水人口)×100
			B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	145	146	148	(L/人)	(配水池有効容量×1/2 + 緊急貯水槽容量)×1,000/現在給水人口
			B204	管路の事故割合	5.0	11.9	4.9	(件/100 km)	管路の事故件数 / (管路延長/100)
			B205	基幹管路の事故割合	0.0	0.0	0.0	(件/100 km)	基幹管路の事故件数/(基幹管路延長/100)
	事故災害対策	事故災害対策	B206	鉄製管路の事故割合	1.6	1.1	1.0	(件/100 km)	鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100)
			B207	非鉄製管路の事故割合	11.6	15.5	12.7	(件/100 km)	非鉄製管路の事故件数 / (非鉄製管路延長/100)
			B208	給水管の事故割合	1.2	0.8	1.0	(件/1,000 件)	給水管の事故件数 / (給水件数/ 1,000)
			B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	0.02	0.35	0.70	(時間)	$\Sigma(\text{断水・濁水時間} \times \text{断水・濁水区域給水人口}) / \text{現在給水人口}$
			B210	災害対策訓練実施回数	1	3	6	(回/年)	年間の災害対策訓練実施回数
			B211	消火栓設置密度	2.4	2.4	2.4	(基/km)	消火栓数 / 配水管延長

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R1)	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	単位	計算式
安定した水の供給	運営管理	環境対策	B301	配水量1m ³ 当たり電力消費量	0.31	0.31	0.32	(kWh/m ³)	電力使用量の合計 / 年間配水量
			B302	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	3.64	3.03	3.38	(MJ/m ³)	エネルギー消費量 / 年間配水量
			B303	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量	194	164	171	(g・CO ₂ /m ³)	[二酸化炭素(CO ₂)排出量 / 年間配水量] × 10 ⁶
			B304	再生可能エネルギー利用率	0.00	0.00	0.00	(%)	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100
			B305	浄水発生土の有効利用率	100.0	100.0	100.0	(%)	(有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100
			B306	建設副産物のリサイクル率	35.1	38.4	67.4	(%)	(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100
	施設整備	施設管理	B401	ダクトタイル鋳鉄管・鋼管率	60.3	60.7	60.9	(%)	[(ダクトタイル鋳鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路延長] × 100
			B402	管路の新設率	0.14	0.10	0.07	(%)	(新設管路延長/管路延長)×100
		施設更新	B501	法定耐用年数超過浄水施設率	0.0	0.0	0.0	(%)	(法定耐用年数を超えてる浄水施設能力/全浄水施設能力)×100
			B502	法定耐用年数超過設備率	71.3	71.3	71.3	(%)	(法定耐用年数を超えてる機械・電気・計装設備などの合計数/機械・電気・計装設備などの合計数) × 100
			B503	法定耐用年数超過管路率	25.9	27.6	29.7	(%)	(法定耐用年数を超えてる管路延長/管路延長) × 100
			B504	管路の更新率	0.54	0.49	0.36	(%)	(更新された管路延長/管路延長) × 100
			B505	管路の更生率	0.00	0.00	0.00	(%)	(更生された管路延長/管路延長) × 100

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R1)	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	単位	計算式
安定した水の供給	施設整備	事故災害対策	B601	系統間の原水融通率	0.0	0.0	0.0	(%)	(原水融通能力/全浄水施設能力)×100
			B602	浄水施設の耐震化率	15.5	15.5	15.5	(%)	(耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力)×100
			B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	0.0	0.0	0.0	(%)	[(沈殿・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力+ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力)/全浄水施設能力]×100
			B603	ポンプ所の耐震化率	2.7	2.7	2.7	(%)	(耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力)×100
			B604	配水池の耐震化率	49.8	49.8	49.8	(%)	(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100
			B605	管路の耐震管率	20.8	21.3	21.6	(%)	(耐震管延長/管路延長)×100
			B606	基幹管路の耐震管率	34.9	34.9	35.4	(%)	(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100
			B606-2	基幹管路の耐震適合率	65.4	65.4	65.8	(%)	(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長)×100
			B607	重要給水施設配水管路の耐震管率	49.3	51.0	52.0	(%)	(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長)×100
			B607-2	重要給水施設配水管路の耐震適合率	65.4	66.9	67.9	(%)	(重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長/重要給水施設配水管路延長)×100
			B608	停電時配水量確保率	200.5	198.1	199.8	(%)	(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量)×100
			B609	薬品備蓄日数	12.0	11.2	9.4	(日)	(平均凝集剤貯蔵量/凝集剤一日平均使用量)又は(平均塩素剤貯蔵量/塩素剤一日平均使用量)のうち、小さい方の値
			B610	燃料備蓄日数	0.6	0.6	0.6	(日)	平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量
			B611	応急給水施設密度	2.4	2.4	2.4	(箇所/100 km ²)	応急給水施設数/(現在給水面積/100)
			B612	給水車保有度	0.01	0.01	0.01	(台/1,000 人)	給水車数/(現在給水人口/1,000)
			B613	車載用の給水タンク保有度	0.10	0.12	0.12	(m ³ /1,000 人)	車載用給水タンクの容量/(給水人口/1,000)

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R1)	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	単位	計算式
健全な事業経営	財務	健全経営	C101	営業収支比率	116.1	112.7	114.9	(%)	$[(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / (\text{営業費用} - \text{受託工事費})] \times 100$
			C102	経常収支比率	114.9	112.0	114.3	(%)	$[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100$
			C103	総収支比率	114.6	111.9	114.0	(%)	$(\text{総収益} / \text{総費用}) \times 100$
			C104	累積欠損金比率	0.0	0.0	0.0	(%)	$[\text{累積欠損金} / (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})] \times 100$
			C105	繰入金比率（収益的収入分）	2.6	2.5	2.2	(%)	$(\text{損益勘定繰入金} / \text{収益的収入}) \times 100$
			C106	繰入金比率（資本的収入分）	9.5	10.2	9.3	(%)	$(\text{資本勘定繰入金} / \text{資本的収入計}) \times 100$
			C107	職員一人当たり給水収益	64,915	63,151	62,485	(千円/人)	給水収益/損益勘定所属職員数
			C108	給水収益に対する職員給与費の割合	9.9	10.3	9.7	(%)	$(\text{職員給与費} / \text{給水収益}) \times 100$
			C109	給水収益に対する企業債利息の割合	7.0	6.5	6.0	(%)	$(\text{企業債利息} / \text{給水収益}) \times 100$
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合	32.3	33.6	34.4	(%)	$(\text{減価償却費} / \text{給水収益}) \times 100$
			C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	32.0	32.4	32.9	(%)	$(\text{建設改良のための企業債償還元金} / \text{給水収益}) \times 100$
			C112	給水収益に対する企業債残高の割合	426.2	428.4	431.3	(%)	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$
			C113	料金回収率	109.4	106.9	109.9	(%)	$(\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$
			C114	供給単価	212.2	210.7	210.3	(円/m ³)	給水収益/年間有収水量
			C115	給水原価	194.0	197.2	191.3	(円/m ³)	$[(\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不要品売却原価} + \text{附帯事業費} + \text{長期前受金戻入})) / \text{年間有収水量}]$
			C116	1か月10 m ³ 当たり家庭用料金	1,702	1,702	1,702	(円)	1か月10m ³ 当たり家庭用料金
			C117	1か月20 m ³ 当たり家庭用料金	3,922	3,922	3,922	(円)	1か月20m ³ 当たり家庭用料金
			C118	流動比率	224.2	260.8	256.5	(%)	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$
			C119	自己資本構成比率	52.1	53.4	54.0	(%)	$[(\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}) / \text{負債・資本合計}] \times 100$
			C120	固定比率	165.3	160.3	155.1	(%)	$[(\text{固定資産} / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額} + \text{繰延収益})) \times 100]$
			C121	企業債償還元金対減価償却費比率	103.9	101.7	101.2	(%)	$[\text{建設改良のための企業債償還元金} / (\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入})] \times 100$
			C122	固定資産回転率	0.12	0.12	0.12	(回)	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$
			C123	固定資産使用効率	6.6	6.6	6.5	(m ³ /万円)	年間配水量/有形固定資産
			C124	職員一人当たり有収水量	306,000	300,000	297,000	(m ³ /人)	年間総有収水量 / 損益勘定所属職員数
			C125	料金請求誤り割合	0.05	0.05	0.07	(件/1,000 件)	誤料金請求件数 / (料金請求件数/1,000)
			C126	料金収納率	91.0	90.9	91.4	(%)	$(\text{料金納入額} / \text{調停額}) \times 100$
			C127	給水停止割合	9.0	5.5	5.4	(件/1,000 件)	給水停止件数 / (給水件数/1,000)

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R1)	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	単位	計算式
健全な事業経営	組織・人材	人材育成	C201	水道技術に関する資格取得度	2.73	2.82	3.22	(件/人)	職員が取得している水道技術に関する資格数 / 全職員数
			C202	外部研修時間	10.3	4.5	6.6	(時間/人)	(職員が外部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数
			C203	内部研修時間	0.0	0.6	0.7	(時間/人)	(職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数
			C204	技術職員率	58.1	63.3	63.3	(%)	(技術職員数 / 全職員数) × 100
			C205	水道業務平均経験年数	8.7	8.5	8.9	(年/人)	職員の水道業務経験年数 / 全職員数
			C206	国際協力派遣者数	0	0	0	(人・日)	Σ (国際協力派遣者数 × 滞在日数)
			C207	国際協力受入者数	0	0	0	(人・日)	Σ (国際協力受入者数 × 滞在日数)
	業務委託		C301	検針委託率	100.0	100.0	100.0	(%)	(委託した水道メーター数 / 水道メーター設置数) × 100
			C302	浄水場第三者委託率	0.0	0.0	0.0	(%)	(第三者委託した浄水場の浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100
	コミュニケーション	情報提供	C401	広報誌による情報の提供度	0.0	0.0	0.0	(部/件)	広報誌などの配布部数 / 給水件数
			C402	インターネットによる情報の提供度	11	8	5	(回)	ウェブページへの掲載回数
			C403	水道施設見学者割合	6.53	3.01	6.71	(人/1,000人)	見学者数 / (現在給水人口/1,000)
	お客様ニーズ	意見収集	C501	モニタ割合	0.08	0.00	0.00	(人/1,000人)	モニタ人数 / (現在給水人口/1,000)
			C502	アンケート情報収集割合	0.81	0.15	0.82	(人/1,000人)	アンケート回答人数 / (現在給水人口/1,000)
			C503	直接飲用率	0.0	88.0	82.0	(%)	(直接飲用回答数 / アンケート回答数) × 100
			C504	水道サービスに対する苦情対応割合	0.01	0.00	0.00	(件/1,000件)	水道サービス苦情対応件数 / (給水件数/1,000)
			C505	水質に対する苦情対応割合	0.19	0.09	0.17	(件/1,000件)	水質苦情対応件数 / (給水件数/1,000)
			C506	水道料金に対する苦情対応割合	0.01	0.00	0.01	(件/1,000件)	水道料金苦情対応件数 / (給水件数/1,000)